



学校だより

～学校評価特集号～

令和6年度 第4号

令和7年3月11日発行

香川県立聴覚支援学校

今回の学校だよりは、今年度の学校評価アンケートの集計結果について報告します。
アンケートへのご協力ありがとうございました。

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
幼稚園	やりとりを楽しむ視覚情報・掲示物の工夫やことば絵じてんの活用	○日めくり日々の活動を載せて、絵日記と合わせて振り返った。また月毎に振り返りができるように掲示した。他のクラスの日めくりもよく見ていた。 ○行事の翌日には廊下に写真を掲示するようにし、1年を通して掲示した。今月に限らず、好きな写真を見る度に話すことで、言葉の定着につながった。 ○5歳児は、ことば絵じてんで「○のつく言葉」の言葉探しに取り組んだ。ことば絵じてんを手掛かりにして「しりとり」を行い、音韻意識を高める学習になった。	・やりとりを楽しむための視覚情報について、子どもの実態に合うように情報共有を行いながら、教材を作成し、活用する。 ・聴覚障害とともに他の障害や病気について理解し、個に応じたコミュニケーションの方法や支援について実践することで教員の専門性の向上を図る。 ・乳幼児教育相談やさんさん交流も含めて、幼・保・こども園、デイサービス、医療機関、保健師等の関係機関との連携を行い、情報共有を行う。
	個々の実態に応じたコミュニケーションの基礎の形成	○個々の実態に応じて写真や絵、文字カードを活用した。個別に予定を伝えることで、見通しをもって移動し、次の活動に取り組むことができた。また意思を伝えるツールとして、カードを活用した。お願いしたい人や場所、おもちゃを選択して伝える経験を重ねるとともに、表情や手話等の表現が豊かになった。	

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
小学部	自分の考えを言語化して自分の言葉で伝えられるようなコミュニケーション力の向上	○教員が常に児童の言語力を高めることを意識し、相手を意識した伝え方、聞き方、さらに考える力を育てるために話し合い活動を取り入れた。友達の考えを知り、自己の考えを広げる対話的な学びを目指した授業作りに取り組んだ。 ○児童の語彙力や日本語の読み書きの力を伸ばすため、品詞の分類や基本的な文の構造などが視覚的に分かりやすい日本語文法指導に取り組んだ。	・語彙の拡充や日本語文法の理解及び表出力の向上を目指し、言語力・コミュニケーション力を高める。 ・教員が学び合いながら聴覚障害教育の専門性の向上を図る。 ・個別の指導計画、教育支援計画の目標やその手立てを個に応じて設定し、保護者には学期末ごとに目標に向けての取組みやその過程、成果を説明するなど、保護者との連携を深める。
	教員の聴覚障害教育の専門性の向上	○教員がチームとなり、お互いが学び合いながら語彙の拡充や日本語文法指導、発音指導、聴覚活用学習、自己理解学習等の指導にあたった。 ○日本語文法指導等の聴覚障害教育に関する学習会を部内で実施した。学部全体で聴覚障害教育の専門性の向上を目指す意識が高まってきた。	
	保護者との確実な連携	○連絡帳や学年通信、あるいは児童の送迎時や懇談会の折に、児童の学習のねらいや学習の様子など、日頃の教育活動についてしっかりと説明し、理解して頂くよう取り組んだ。 ○保護者との連携に関する学校評価では、高評価を得た。	

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
中学部	学力・生活力の向上	○学習面では、毎日教員持ち回りで「朝の言葉」で季節・行事・旬などに関する言葉や事柄を学習した。教室や廊下に掲示したり、週に1回復習テストを行ったりすることで、言葉の定着が進んだ。 ○生活面では、性教育、身だしなみ、食事マナーなどについて学習した後、日常生活で生かすよう促した。保護者の協力もあり、個に応じてできることが少しずつ増えている。	・言語力(日本語、手話)の向上を目指し、部全体で共通意識をもって指導に当たる。 ・教員がともに学ぶ機会を設定し、聴覚障害教育の専門性を向上させる。 ・日頃の教育活動について保護者へ丁寧に説明し、連携して生徒の自立の力を高める。
	コミュニケーション能力の向上	○年間を通して、「1分間スピーチ」を行った。手話・発音・表現を磨いて発表し、動画を見て評価する取組を繰り返し、1月には全員が5分を越える「新年の誓い」のスピーチを、自信をもって発表することができた。	
	生きる力・自立の力の育成	○学級の係活動を各自が責任をもって行った。お互いに称賛しあうことで自己有用感が高まり、進んで協力し合う姿が見られた。 ○職場体験では、それぞれの実態に合った方法で生徒自身が打ち合わせを行った上で体験した。受け入れ先に身だしなみ、あいさつ、コミュニケーションについて評価してもらい、学習に生かしている。	

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
高等部	社会で活かせるコミュニケーションの力を高める取組	○校外学習や交流及び共同学習の機会を活用して、コミュニケーション手段を状況に応じて使い分ける機会を設け、相手に合わせてコミュニケーションを図ることができた。 ○自分の聞こえや配慮事項をまとめた「トリセツ」を活用し、自己認識を深める活動に取り組んだ。その中で、学習内容を生徒が主体となって企画し、積極的に話し合い活動を行った。	・個別の指導計画に記載している自立活動の目標を見直す機会を設け、LHRや総合等の授業の中でSSTやロールプレイ等を取り入れた授業を展開する。 ・社会参加に向けた基礎作りとして、校外での活動に積極的に取り組み、生徒の自己有用感を育む。 ・個別の教育支援計画の願いや目標に応じて、ICT機器の使用を含めた分かる授業を行う。
	校内外での自主的な活動の推進	○三木高校と交流及び共同学習を行ったり、かがわ総文祭での様々な活動へ参加したりした。特に総文祭の生徒実行委員は、年間を通して実行委員会へ参加したり、糊染による作品を制作したりした。 ○総文祭プレ大会においてステージで手話コーラスを披露したり、街頭でのパレードへ参加したりした。 ○部活動における対外試合への積極的な参加や各種検定試験の受検を促したり、作品の応募を行ったりして、生徒の自己効力感を育む活動に取り組んだ。	



学校評議員会・学校関係者評価委員会から

令和7年2月19日（水）に第2回学校評議員会が開催されました。
学校関係者評価委員会も兼ねており、学校評議員4名とPTAより3名
にご参加をいただきました。



〔各評議員等の方々のご意見やご感想の一部を抜粋してお知らせします。〕

【本校の教育について】

○今は学校でタブレットを使うことが当たり前になってきており、その指導は大事なことと思う。今後どのように実践を積み重ねていかれるか、その報告を楽しみにしている。

○幼稚部におけることば絵辞典の作成、小学部における助詞・動詞・形容詞の表を使った学習、中学部における「1 分間スピーチ」の取り組み、高等部における話し合い学習や総文祭プレ大会への参加など、子どもにとって本校での経験はすごく良かったです。健聴者と話したり交流したりする機会がもっと増えるとありがたい。

【防災について】

○防災意識に関する内容の先生方の評価が「B」なのは不安である。「A」になるように、訓練の内容を検討してほしい。

→防災の評価については、「十分にできている」という評価は過信につながる可能性もある。職員は転勤するため、毎年体制は変わる。目標や研修、避難訓練の内容についても毎年実施方法について検討や見直しを重ねていきたい。

○寄宿舎の防災訓練の取り組みについて教えてほしい。

→毎月避難訓練を実施している。今年度は「夜間、就寝中に起こして避難」「早朝、就寝中に起こして避難」など、新たな取り組みを行った。また教職員へのアンケートでは災害時には、10 名程度の教員が 30 分以内に駆けつけることができるとの回答も得ている。

【学校評価について】

○生徒や保護者の方の願いがどこに反映されているか分かりにくかった。できれば「生徒や保護者の方の願いなどを踏まえて、こういったことに取り組む」というような文言があると、もう少し中身について理解しやすかったと思う。

○先生方の自己評価、保護者からのアンケート集計結果など、毎年同じような内容で評価することがある。評価によっては、継続的に評価していく部分と、新しくチャレンジしていく内容があることで、より良い学校作りに繋がっていくのではないかと思います。

この他にも、貴重なご意見を多数いただきました。学校で改善する必要があるものについては、すでに検討を始めているものもあります。今後も、学校評議員会にてご意見を拝聴し、検討・改善を進めてまいります。

令和6年度学校評価表(幼稚部自己評価) ～集計表～

〈教員による評価〉

香川県立聴覚支援学校

- 評価基準 A:十分に達成している。全く問題はない。
 B:ほぼ達成している。特に問題はない。
 C:あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。
 D:達成していない。改善・工夫が必要である。

回収率 100%

I 幼稚部における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 基本的な生活習慣を養い、健康で明るく生き生きとした子どもを育む。(部全体)	3	3	0	0	100%
② 一人一人に応じたコミュニケーションの基礎の力を養い、伝え合うことを楽しむ子どもを育む。(部全体)	5	1	0	0	100%
③ 様々な体験や人との関わりを通して、学校生活や遊びを楽しみ、自分の力で頑張ろうとする子どもを育む。(部全体)	2	4	0	0	100%
II 課題取組に関する目標	A	B	C	D	B以上
① やりとりを楽しむような関わり(子どもの気持ちの理解・受け止め・共感)をする。(各個人)	0	5	1	0	83%
② 子どもが興味をもち、やりとりのきっかけとなるような掲示物や視覚情報を意識した教材の工夫をする。(各個人)	2	2	2	0	67%
③ 他の障害や病気を理解し、個々の実態に応じたコミュニケーションの支援を行う。(各個人)	2	2	2	0	67%
④ 教育内容に見通しをもてるように、教員間で教材の整理や情報共有を行う。(部全体)	3	3	0	0	100%
III 学習指導(自立)における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 子どもの聞こえ等に配慮するとともに、言語力の向上に努める。(各個人)	1	4	1	0	83%
IV 交流及び連携に関する目標	A	B	C	D	B以上
① 学校間交流や居住地校交流では、交流先と連携し、同年代の幼児と触れ合う楽しさを味わえるようにする。(部全体)	4	2	0	0	100%
② 家庭や関係機関との連携を丁寧に行い、子どもや保護者への支援に役立てる。	3	3	0	0	100%
V 管理、運営面における目標	A	B	C	D	B以上
① 職員間の情報伝達(報告・連絡・相談等)を円滑に行う。(各個人)	4	2	0	0	100%
② 集金処理や会計処理を適切に行う。(各個人)	2	4	0	0	100%

令和6年度学校評価表（幼稚部 保護者アンケート）～集計表～

〈保護者による 学校教育活動についての評価〉

香川県立聴覚支援学校

○ 評価基準 A:十分にできている

B:ほぼできている

C:あまりできていない

D:できていない

?:わからない(学習会等に関しては、参加できていないため分からないも含む)

回収率 83%

I 学習活動について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様は、先生や友達と一緒に、楽しく学校生活を送ることができましたか。	4	1	0	0	0	100%
② 日々の保育内容や行事は、お子様の興味、関心に合っていましたか。	3	2	0	0	0	100%
③ お子様は、この1年間で、できることが増えていますか。	5	0	0	0	0	100%
④ 教員は、聞こえや発音、お子様に応じたコミュニケーション手段（音声、手話、指文字、身振りサインなど）に関して、配慮していましたか。	3	2	0	0	0	100%
⑤ 懇談や連絡帳などによって、学校でのお子様の様子が適宜伝えられていましたか。	5	0	0	0	0	100%

II その他	A	B	C	D	?	B以上
① お子様は、この1年間で、できることが増えていますか。	4	1	0	0	0	100%
② 教員は、聞こえや発音、お子様に応じたコミュニケーション手段（音声、手話、指文字、身振りサインなど）に関して、配慮していましたか。	4	1	0	0	0	100%

令和6年度学校評価表(小学部自己評価) ～集計表～

〈教員による評価〉

香川県立聴覚支援学校

- 評価基準 A:十分に達成している。全く問題はない。
 B:ほぼ達成している。特に問題はない。
 C:あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。
 D:達成していない。改善・工夫が必要である。

回収率 100%

I 小学部における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 一人一人の実態を把握して障害の特性に応じた指導上の配慮を行い、学力や社会へ出るために必要な基本的な力の向上を図る。(各個人)	4	4	2	0	80%
② 学校生活全般を通して言語活動の場を設定し、コミュニケーションの拡充を図る。(部全体)	2	8	0	0	100%
③ 望ましい生活習慣の形成を通して、健康や安全に関心をもとうとする態度を育成する。(部全体)	6	4	0	0	100%
II 教育課程における目標	A	B	C	D	B以上
① 担当した教科等の指導を、個別の指導計画にそって進める。(各個人)	2	8	0	0	100%
III 学習指導における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 授業の始まりと終わりの時刻を守る。(各個人)	3	5	2	0	80%
② 教科指導や自立活動、特別活動等の指導を通し、自ら考え動く力を育む。(部全体)	2	8	0	0	100%
IV 生徒指導における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 児童・学級担任・保護者間での情報共有を図るため、連絡帳の活用・情報の発信・三者間のやりとりを行う。(各個人)	4	6	0	0	100%
V 進路指導における目標	A	B	C	D	B以上
① 「キャリア教育」を意識し、将来を見据えた教育活動を実施する。(部全体)	3	6	1	0	90%
VI 管理、運営面における目標	A	B	C	D	B以上
① 各担当区域の環境整備(設備、防災、衛生、安全面)を適切に行う。(各個人)	6	4	0	0	100%
② 各部内での職員間の情報伝達(報告・連絡・相談等)を円滑に行う。(各個人)	4	6	0	0	100%
③ 所属部以外の部へ必要な情報伝達を行う。(各個人)	1	8	1	0	90%
④ 各係として、保護者からの集金処理や業者との会計処理を適切に行う。(各個人)	6	4	0	0	100%

令和7年1月

令和6年度学校評価表（小学部 保護者アンケート）～集計表～

〈保護者による 学校教育活動についての評価〉

香川県立聴覚支援学校

- 評価基準
- A:十分にできている
 - B:ほぼできている
 - C:あまりできていない
 - D:できていない
 - ?:わからない

回収率 100%

I 学習指導について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様の各学期の目標（生活面・学習面）は、達成できましたか。	3	2	1	0	1	71%
② 教員はお子様の聞こえに配慮し、手指メディア（手話、指文字等）、ICT機器・教材（タブレット端末、パソコン等）、絵カードなどの視覚的な方法を活用した指導ができていましたか。	4	3	0	0	0	100%
③ 学級懇談会や連絡帳、学級通信等によって、学校でのお子様の状況が適切に伝えられていましたか。	6	1	0	0	0	100%
④ 教員は、通知表等において、お子様の能力や努力を適切に評価できていましたか。	7	0	0	0	0	100%
⑤ 教員は、日々の家庭での宿題・課題等を適切に提供して指導できていましたか。	6	1	0	0	0	100%

II その他	A	B	C	D	?	B以上
① 教員から、お子様の悩みや学習面、生活面での困難さ等について、適切なアドバイスがなされてましたか。	5	2	0	0	0	100%
② 教員から進級や進学について、情報提供や相談が適切におこなわれていますか。	4	2	1	0	0	86%

令和6年度学校評価表(中学部自己評価) ～集計表～

〈教員による評価〉

香川県立聴覚支援学校

- 評価基準 A:十分に達成している。全く問題はない。
 B:ほぼ達成している。特に問題はない。
 C:あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。
 D:達成していない。改善・工夫が必要である。

回収率 100%

I 中学部における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 一人一人の実態を把握し、障害の特性等に応じた指導上の配慮をより充実させ、生活力及び学力の向上を図る。(各個人)	2	6	1	0	89%
② 個々に応じた言語活動を通して、コミュニケーション能力を高め、人と関わる力を育てる。(部全体)	5	4	0	0	100%
③ 体験的な学習や交流及び共同学習を通して、主体的に考え、行動する力を育む。(部全体)	5	4	0	0	100%
II 学習指導における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 担当教科等の指導を個別の指導計画に沿って行い、学力等の向上を図る。(各個人)	1	8	0	0	100%
② ICT機器等を活用して、それぞれの生徒に合った指導方法を工夫改善する。(各個人)	1	8	0	0	100%
③ 手話・音声・文字等あらゆる手段を用いて、コミュニケーション能力の向上を図る(部全体)	5	4	0	0	100%
III 生徒指導における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 生徒・学級担任・保護者間での情報共有を図るため、連絡帳の活用・情報の発信・三者間のやりとりを行う。(各個人)	4	4	0	0	100%
② 相手の立場に立ったコミュニケーションができるようになるなど、思いやりのある人間性を育成する。(部全体)	3	6	0	0	100%
IV 進路指導における目標	A	B	C	D	B以上
① 係活動や役割の経験を通して、自主性を育てながら自己有用感を向上させる。(部全体)	5	4	0	0	100%
② 保護者・生徒とともに、卒業後の姿を考えて目標を設定し、社会で生活していくために必要な力を育てる。(部全体)	3	5	1	0	89%
V 管理、運営面における目標	A	B	C	D	B以上
① 各担当区域の環境整備(設備、防災、衛生、安全面)を適切に行う。(各個人)	4	5	0	0	100%
② 各部内での職員間の情報伝達(報告・連絡・相談等)を円滑に行う。(各個人)	1	8	0	0	100%

令和7年1月

令和6年度授業評価(中学部生徒) ～集計表～

香川県立聴覚支援学校

- ・とてもできている、はいと思う場合は、「◎」と書いてください。
- ・ほぼできている、まあまあと思う場合は、「○」と書いてください。
- ・あまりできていないと思う場合は、「×」と書いてください。

回収率 100%

授業に関する項目	◎	○	×
① 授業は楽しく、安心して受けられる。	4	1	0
② 授業でわからないことについて先生に質問しやすい。	4	1	0
③ 先生は見てわかりやすい資料やビデオ、コンピューターなどをよく使ってくれる。	4	1	0
④ 先生は生徒の意見や考え方をよく聞いてくれ、大切にしてくれる。	4	1	0

自分自身に関する項目	◎	○	×
① 学習の準備や服装を整えて授業の始まりを待っている。	1	4	0
② 授業の内容を理解しようと努力している。	4	1	0
③ 授業中わからないところは質問している。	4	1	0
④ 他の人の発表をよく理解しようと努力している。	5	0	0
⑤ 宿題をきちんとしている。	2	3	0

令和6年度学校評価表（中学部 保護者アンケート）～集計表～

〈保護者による 学校教育活動についての評価〉

香川県立聴覚支援学校

- 評価基準
- A:十分にできている
- B:ほぼできている
- C:あまりできていない
- D:できていない
- ?:わからない

回収率 100%

Ⅰ 学習指導について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様の各学期の目標（生活面・学校面）は達成できましたか。	1	4	0	0	0	100%
② お子様は、個々に応じた言語活動の指導を通して、コミュニケーション面での成長が感じられましたか。	3	2	0	0	0	100%
③ お子様は、校外学習や交流学习、職場体験等の体験活動に意欲的に取り組むことができましたか。	3	2	0	0	0	100%
④ 教員は、お子様の実態に配慮して、手話や指文字、ICT機器等を用いたわかりやすい指導ができていますか。	4	1	0	0	0	100%
⑤ 教員は、通知表等でお子様の能力や努力を適正に評価していますか。	4	1	0	0	0	100%

Ⅱ 学校の様子について	A	B	C	D	?	B以上
① 学級懇談会や連絡帳等によって学校と家庭との情報交換等を適宜行うことができていますか。	3	1	0	0	1	80%
② 学級通信や懇談等で、お子様の進路について、情報提供や相談が適切に行われていますか。	3	1	1	0	0	80%

令和6年度学校評価表(高等部自己評価) ～集計表～

(教員による評価)

香川県立聴覚支援学校

- 評価基準 A:十分に達成している。全く問題はない。
 B:ほぼ達成している。特に問題はない。
 C:あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。
 D:達成していない。改善・工夫が必要である。

回収率 100%

I 高等部における全体目標		A	B	C	D	B以上
①	個に応じた丁寧な学習指導や、指導方法の検討を行い、現場実習や進路希望先の見学など校外での活動を充実し、一人一人の進路目標の実現を図る。(部全体)	5	7	0	0	100%
②	学校生活全般を通して活発なコミュニケーションの場を設けるとともに、社会で活かせるコミュニケーション力を高める取組を進め、卒業後の望ましい対人関係を構築する姿勢を育成する。(部全体)	5	6	1	0	92%
③	生徒会活動、校外外での自主的な活動を推進し、生涯学習・スポーツにつなげるとともに、自立して社会参加できる意欲・態度を育てる。(部全体)	3	9	0	0	100%
II 学習指導における全体目標		A	B	C	D	B以上
①	担当教科等の指導を個別の指導計画に沿って行い、学力等の向上を図る。(各個人)	6	6	0	0	100%
②	個々の進路希望に応じた学力の向上と、それに対応した具体的な目標及び内容を設定し取り組む。(部全体)	5	7	0	0	100%
③	ICT機器等を活用した授業を推進し、生徒が分かる授業を目指したり、生徒へ活用を促したりする。(部全体)	3	8	1	0	92%
III 生徒指導における全体目標		A	B	C	D	B以上
①	いじめ等が生じないよう、相手の立場に立ったコミュニケーションができるようになるなど、思いやりのある人間性を育成する。(部全体)	2	6	4	0	67%
②	学校のルールを守り、服装等を整え、規律正しい生活が送れるよう指導する。(部全体)	3	6	2	1	75%
IV 進路指導における目標		A	B	C	D	B以上
①	生徒一人一人の学習意欲を高め、個別の進路に対応する学力を身につけ、進路希望の実現を図る。(部全体)	1	11	0	0	100%
②	朝学習や個別指導を効率よく実施し、個々の生徒の能力を伸ばすなど、確かな学力の向上を図る。(部全体)	4	7	1	0	92%
V 管理、運営面における目標		A	B	C	D	B以上
①	各担当区域の環境整備(設備、防災、衛生、安全面)を適切に行う。(各個人)	7	5	0	0	100%
②	部内での職員間の情報伝達や意見交換を行い、共通理解を図る。(各個人)	4	6	1	1	83%

令和7年1月

令和6年度授業評価(高等部生徒) まとめ～集計表～

香川県立聴覚支援学校

- ・とてもできている、はいと思う場合は、「◎」と書いてください。
- ・ほぼできている、まあまあと思う場合は、「○」と書いてください。
- ・あまりできていないと思う場合は、「×」と書いてください。

回収率 100%

授業に関する項目	◎	○	×
① 授業の進む速さはちょうどよい。	22	8	0
② 先生の話し方(手話、指文字等も含む)がはっきりして、言っていることがわかりやすい。	22	8	0
③ 先生は自分や友だちの意見や考え方をよく聴いてくれ、大切にしてくれている。	21	9	0
④ 板書は見やすく、わかりやすい。	22	3	0
⑤ 先生は目で見えてわかりやすい資料やビデオ、コンピュータ等をよく使ってくれる。	17	10	3
⑥ 先生がつけている成績(通知表)は納得できる。	18	8	0
⑦ 宿題の量や内容は自分の成績向上のためになっている。	12	16	2

自分自身に関する項目	◎	○	×
① 教材(服装等含む)を準備して授業の始まりを待っている。	22	8	0
② 私語などをせず、先生の説明を理解しようと努力している。	17	12	1
③ 授業中わからないところは質問している。	13	8	9
④ 他の人の発表を理解しようと努力している。	12	8	0
⑤ 予習・復習や宿題をきちんとしている。	13	10	4

アンケート対象教科 1組・・・国語、社会、理科、数学、英語
2組・・・国語、数学

令和6年度学校評価表（高等部 保護者アンケート）～集計表～

〈保護者による 学校教育活動についての評価〉

香川県立聴覚支援学校

- 評価基準
- A:十分にできている
- B:ほぼできている
- C:あまりできていない
- D:できていない
- ?:わからない

回収率 100%

I 学習指導について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様がホームルーム等で立てた、各学期の目標は、達成できたと思いますか。	2	3	0	1	3	56%
② 学校生活全般にわたって、個に応じた指導ができていると思いますか。	5	2	0	1	1	78%
③ 通知表等において、お子様の成果や努力が適正に評価されていましたか。	5	2	1	1	0	78%
④ コミュニケーション面での指導が行われ、対人関係面でお子様の成長が感じられましたか。	5	2	1	1	0	78%
II 部活動について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様の目標に応じて、個の能力を十分に発揮できるよう指導されていると思いますか。	3	3	0	2	1	67%
III その他	A	B	C	D	?	B以上
① お子様の学校生活での悩みや相談等について、教職員が適切な対応をしていると思いますか。	3	3	0	1	2	67%
② お子様の進路について、情報提供や個に応じた指導が適切になされていると思いますか。	4	3	0	1	1	78%

令和6年度学校評価表(他分掌評価)～集計表～

分掌名	評価項目	A	B	C	D	B以上 [%]
教務部	諸表簿の点検を計画的に実施する。	21	18	0	0	100%
研究部	研修係が協力して、各グループ(言語指導・自己理解・手話)での研修を計画的に進める。	20	23	0	0	100%
人権・同和教育部	幼児児童生徒の実態に応じた人権・同和教育活動の実践例の紹介を行う。	14	23	4	1	88%
生徒指導部	幼児児童生徒が安心して落ち着いた学校生活を送ることができるよう、各種の指導(交通安全・携帯電話安全利用等)を各部の実態に応じて効果的に実施する。 児童生徒が主体的に活動し自己有用感が育つよう、各部の実態に応じて学活やHR、児童会生徒会活動を計画実施する。	19	22	1	0	98%
メディア教育	視聴覚機器やタブレット端末等を授業等で活用しやすいように、使用方法をまとめたマニュアルを作成し、研修会等で周知する。また、教職員、幼児児童生徒が積極的に使用できるよう環境を整える。	21	22	0	0	100%
進路指導部	進路希望調査や学期末懇談での聞き取りを取りまとめ、幼児児童生徒それぞれの希望や実態に合った進路実現を目指し、予測される実習や進路先の新規開拓を進め、研修や講演・進路だより等で情報提供を行う。	20	23	0	0	100%
保健部	幼児児童生徒が元気な心と身体づくりをめざし、給食を通して食への関心を高めるために、感染症・衛生面に配慮しつつ、栄養教諭とも連携し給食食材の下準備や配膳等の体験活動を行う。	19	22	0	0	100%
環境管理部	幼児児童生徒が安全安心な学校生活を送るために、全職員が発災時の避難経路や役割分担を考えて行動できるよう、各避難訓練を計画的に実施する。	22	19	0	0	100%
総務部	保護者と連携をはかりながら、本校の実情に合わせたPTA活動を計画・実施する。	17	24	0	0	100%
きこえとことばの相談支援センター	職員会議等できこえとことばの相談支援センターの活動について報告を行い、センター的機能についての理解を進める。	24	21	0	0	100%
寮務部	(担任) 寄宿舎の活動や舎生の状況について、学校、家庭と連絡を密にとりながら、共通理解を図る。 (担任以外) 寄宿舎での活動や取り組みについて、情報を発信し理解推進を図る。	23	13	1	0	97%